

「はなのわペアレント・トレーニング」参加者募集!

子どもの行動に「困ったな…」「どうすればいいのだろう…」など、悩みを抱えていませんか。ペアレント・トレーニングとは、お子さんのさまざまな行動に対してどのような対応が効果的なのか、“子どもとの関わり方のコツ”を学ぶプログラムです。親と子がより良い関わり方で家庭生活が送れるよう、同じ悩みを持つ保護者の皆さんと一緒に学んでみませんか。

日時▼6月8日、7月13日、9月14日(全て水曜日、全3回) 午前9時30分～11時15分

場所▼なごみ・総合支援センター

対象等▼村内在住で、おむね3歳～小学3年生の子を持つ保護者(先着20人)

内容▼▽第1回…オリエンテーション、子どもの行動を3種類に整理しよう、好ましい行動を増やすには▽第2回…好ましくない行動を減らすには▽第3回…子どもの協力を増やす方法

講師▼根本仁子さん(ペアレント・トレーニングリーダー)
その他▼新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止・延期となる場合があります。

申し込み・問い合わせ▼5月2日(月)から20日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)に、電話で、子ども発達支援センター(なごみ・総合支援センター内 ☎282-3443)へ申し込みください。

参加費は
無料だよ!



ハナちゃん ノワくん

ふるさと歴訪
〜自然を探して〜
鉄バクテリアと「赤壁」

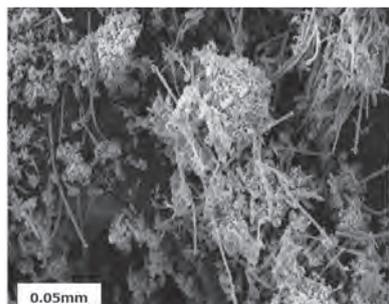
東海村文化財保護審議会委員
菊池 芳文

水田の水路や造成地の排水口の周囲で、水面に虹色の被膜が浮き、赤茶色で「ブヨブヨ」とした感じの物体を見ることがあります。村内でもそうした場所が存在し、特に南台東側下の、道路沿いの水路や、コンクリート壁の地下水排水口周辺および崖の表面でよく見られます。中でも注目すべきは、「赤壁」のような崖(写真①)で、大変珍しいものと言えます。表面を観察すると、鍾乳洞の鍾乳石のように表面が段を成して先端が細り、流れる水の水面には虹色の被膜が見られます。

この「赤壁」を作る赤茶色の物体の正体は、パイプ状をした「鉄細菌(鉄バクテリア)」「写真②」が生成した「水酸化第二鉄」の沈澱物、いわゆる「鉄サビ」です。地下水には二酸化炭素が含まれており、鉄分の多い地層を通じて湧き出すと、空気中の酸素が溶け込みます。その時に地中の鉄細菌(鉄バクテリア)が活発に活動して、水酸化第二鉄を生成し沈澱させます。一見有害な感じがしますが、



【写真① 鉄バクテリアが作る「赤壁」】



【写真② 鉄バクテリアの電子顕微鏡写真(千葉科学大学・菊池美波氏撮影)】

自然環境の中に存在する程度であれば無害とされています。また、虹色の被膜は、不法に捨てられた石油などの油膜と誤解されることもあります。鉄の酸化による被膜で油膜ではありません。

さらに興味深いことに、平成21年に宮内庁正倉院事務所が報告した「正倉院宝物の顔料調査」で、赤色顔料の一つとして掲げた「パイプ状ベンガラ」と南台の「水酸化第二鉄」の試料は、産出状態も走査電子顕微鏡での観察結果も同様でした。そうしたことから、村内の古墳時代の土器などの赤彩(着色)に、南台周辺の「水酸化第二鉄(パイプ状ベンガラ)」を採取・乾燥して使用された可能性が考えられます。